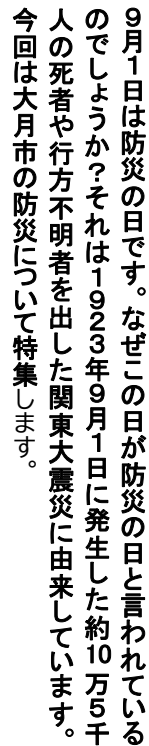


都留高二ス



土砂災害の危険度は？

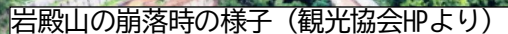
**取材・広告
希望の方は
新聞同好会
(木内)まで**

降水帯に伴う被害がでたようである。大月市観光協会のHPによれば、「2017年(平成29年)8月7日、短時間に集中的に多くの雨が降った影響で大月市のシンボル『石殿山』は大きな被害を受けました。台風5号に伴う線状降水帯により、短

65年前の台風被害・

昭和34（1959）年9月1日の都留高新聞には「台風災いをもたらす」の見出しから始まる記事がある。「台風七号は発生以来以外に遠く本土上陸した。台風が強かったため各地の被害は何億何十億という莫大な額に達している。」新聞では甲府方面の被害の様子は屋根のある人家は見当たらない位だと報道された。今更ながら台風の偉大さ恐ろしさが痛切に身にしみる。わが校に於いても相当な被害者が出ている。八月十

時間での雨量は市内の賑岡地区を中心に午後2時から4時間で245、5ミリという猛烈なものでした。岩殿山では山腹崩壊などが多数発生、登山道の一部崩落や給水施設が土砂に押しつぶされるなどの被害を受けました。」とある。



都留高校付近のハザードマップを調べてみると確かに都留高校も危険な状況が見受けられます。そこで地学の大須賀先生にいくつかのことについてお伺いしました。

Q1、まず、最近よく聞く線状降水帯って何ですか？

ー積乱雲が作られ決まった地域に押し寄せられ雨が降り続ける状態です。

Q2、都留高校のハザードマップを見ると一部が土砂災害の危険予測にあたっているのですが、大丈夫ですか？

ー可能性として考えられるのは南東にある菊花山の斜面が大雨で崩れその土砂が都留高校の敷地にはいつてしまふようなハザードマップが作られています。その

ため、もし雨が降った時のためにあらかじめ知っておき、気をつけることが大事です。



急な質問にも丁寧の説明して
いただいた大須賀先生

Q3、災害に備えておくべきことは何ですか？

ー災害が自分達のこととして捉え、もし災害が起きてしまった時のために普段から自分や家族を守るためのことについて考えたり、家族で共有したりすることが大事だと思っています。

作業に奉仕した。仕事の内容については主に倒れたぶどう棚、桃や梅等をおこす作業であつた。二日間慣れない作業でかなりの労働であつたがそ

こは若々しい闘志でカパー
 当地の人達にも大変よろこ
 ばれている。」とあり、当時も
 都留高生の活躍があつたよう
 で頼もしい。

[illegible]

自学进阶

都留高校がモデルとなっている漫画をご存じだろうか？週刊ビックコミックスピリッツで連載中の森巡る（原作）砂糖野しおん（作画）『うちがキングダム』（小学館）だ。とはいえ、都留高校関係者でもよく見ないと分からないレベルだが校舎の外観などは確かに都留高校である。内容は主人公の家が独立国家を名乗り、その娘（主人公）とその弟が巻き込まれていくといった感じだ。今後の盛り上がりに期待したい。◇そもそも独立国家を一家が名乗ることなどできるのだろうか。公共の教科書には国家の三要素として①国民②領土③主権が挙げられている。国民と領土は自分の家や家族をそれとすれば名乗れるかもしれないが、「主権」を維持することが難しい。自分の家で好き勝手なことをすれば警察が介入してくるかもしれないし、自衛隊が入ってくるかもしれないが、それを個人宅で防ぐことは難しいだろう。その点、かわぐちかいじ著『沈黙の艦隊』講談社）では核武装した潜水艦が「独立国家やマト」を名乗ることができたのは興味深い。◇さて、「キングダム」といえば原泰久著『キングダム』（集英社）ではようやく秦が韓を滅ぼした。世界史の授業で触れてからはや10年。遠い道なのであった。漫画から映画化やアニメ化された作品は大きな影響を与える。都留高が舞台の漫画がアニメ化・実写化され、大月が活性化される日があることを願う。（願）。

